

---

# 平成 22 年度における環境の現況

---

平成 23 年 8 月

尼崎市 環境市民局 公害対策課

# 目 次

常時監視.....	1
1 大気汚染.....	1
環境の現況.....	1
自動車交通量の現況.....	9
まとめ.....	9
2 自動車騒音.....	10
定期監視.....	11
1 大気汚染.....	11
有害大気汚染物質.....	11
ダイオキシン類.....	12
酸性雨.....	12
アスベスト(石綿).....	13
まとめ.....	13
2 交通騒音・振動.....	14
自動車騒音・振動.....	14
山陽新幹線騒音・振動.....	16
まとめ.....	16
3 水質汚濁.....	17
公共用水域.....	17
地下水.....	20
まとめ.....	20
公害に関する苦情.....	21
< 資料 >	
資図-1 測定所配置図.....	22
資表-1 常時監視の場所と項目.....	23
資表-2 気象の測定結果.....	24
資表-3 平均風速の推移.....	24
資図-2 風配図.....	25
資図-3 熱帯夜と真夏日の日数の推移.....	25
資表-4 大気汚染状況の推移(一般環境大気測定所).....	26
資表-5 大気汚染状況の推移(自動車排出ガス測定所).....	27
資表-6 光化学スモッグ広報発令回数の推移(尼崎市域).....	28
資表-7 自動車交通量の推移(尼崎市域).....	28
資表-8-(1) 月別気象概況(中部測定所(国設尼崎)).....	29
資表-8-(2) 月別気象概況(中部測定所(国設尼崎)).....	30
資図-4 公共用水域水質調査地点.....	31
資表-9 水質汚濁状況(年平均値)の推移.....	32
資表-10 地下水調査結果.....	33
資図-5 地下水調査メッシュ図.....	33

## 常時監視

### 1 大気汚染

市内の大気汚染の状況を把握するため、一般環境大気測定所 3 ヶ所及び自動車排出ガス測定所 7 ヶ所において二酸化窒素濃度等を常時監視した。(資図-1、資表-1)

## 環境の現況

### 気象

気温について、中部測定所の年平均値は 17.0 で過去年平均値<sup>1</sup>(16.9 )と同程度であった。月別平均値は過去月別平均値<sup>2</sup>と比べて、8、9、10 月がやや高く、4、5、1、3 月がやや低かった。(資表-2、8-(1))

降水量について、中部測定所の年間降水量は 1,293.5mm で、前年度(1,155.0mm)より多く、過去年平均値と同程度であった。月間降水量は 4、6 月が過去月別平均値よりやや多く、11、1、3 月はやや少なかった。(資表-2、資表-8-(1))

風向について、年間最多風向は、北部測定所が北の風、中部測定所が西南西の風、南部測定所が北東の風で、概観すると、夏場は南西系の風が、その他の時季は北から北東系の風がおおむね卓越していた。(資表-2、資図-2)

風速について、北部測定所の年平均値は 2.8 ミリ/秒、南部測定所の年平均値は 2.7 ミリ/秒で中部測定所の年平均値は 1.9 ミリ/秒で、いずれも前年度と同程度であった。(資表-2、3、8-(2))

日射量について、中部測定所の年平均値は過去年平均値よりやや多かった。月別平均値については、8、1、3 月がやや多く、10 月がやや少なかった。(資表-2、8-(1))

中部測定所での気温観測からみると熱帯夜及び真夏日の日数は前年度よりやや多かった。(資図-3)

## 環境濃度

### ア 二酸化窒素

一般環境大気測定所 3 ヶ所の年平均値の平均は 0.018ppm、自動車排出ガス測定所 6 ヶ所の年平均値の平均は 0.024ppm で、近年やや減少傾向で推移している。(図-1、2)

9 ヶ所すべての測定所で環境基準に適合していた。(表-1、2、資表-4、5)

---

<sup>1</sup> 過去年平均値: 過去 10 年間の年平均値の平均(降水量は過去 10 年間の年間降水量の平均)

<sup>2</sup> 過去月別平均値: 過去 10 年間の各月の月別平均値の平均(降水量は過去 10 年間の月間降水量の平均)

図-1 一般環境大気測定所濃度の推移(全測定所平均値)

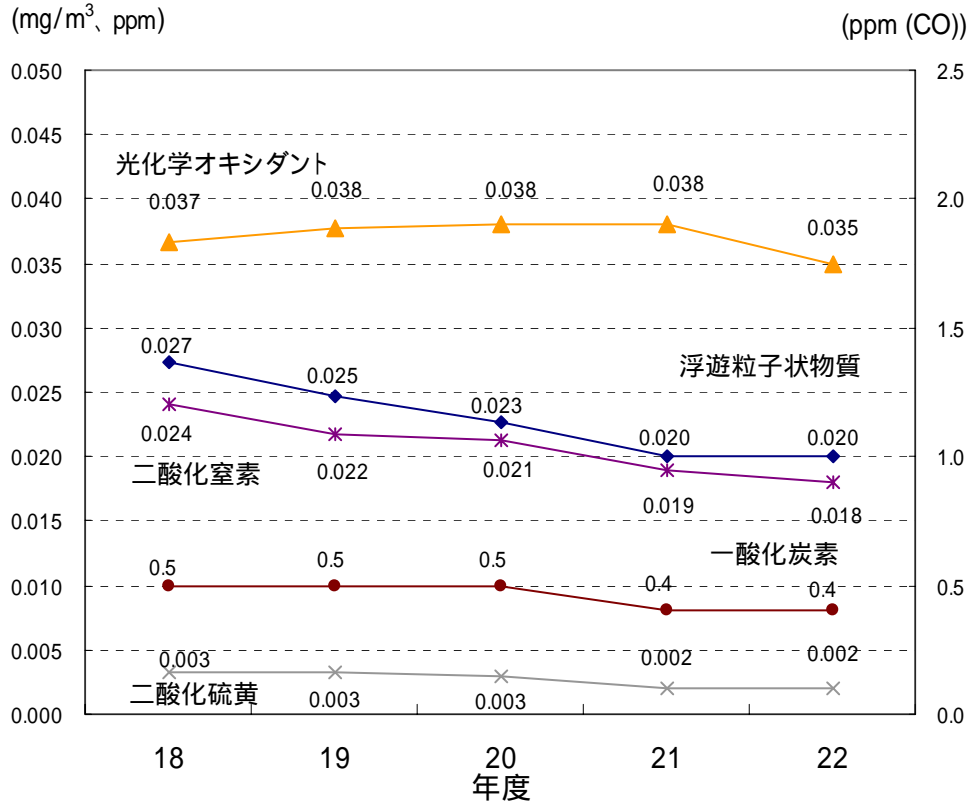


図-2 自動車排出ガス測定所濃度の推移(全測定所平均値)

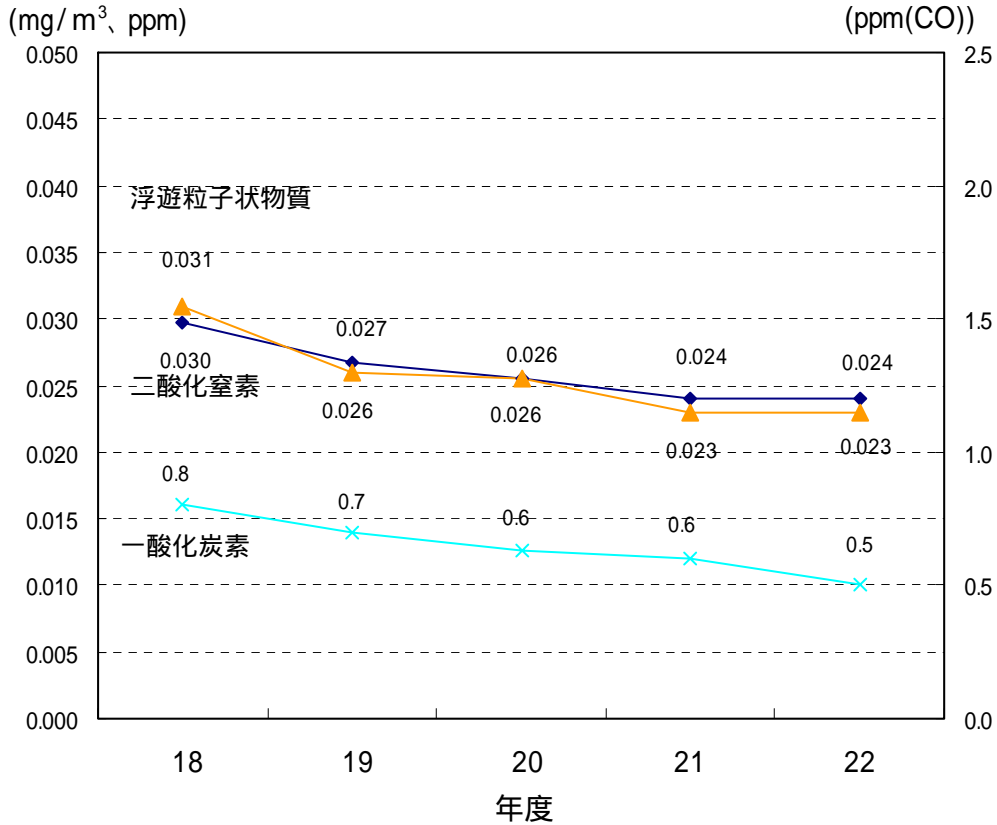


表-1 二酸化窒素濃度測定結果(一般環境大気測定所)

(22年度)

測定所	年平均値 (ppm)	日平均値の年間98%値 (ppm)	有効測定日数 (日)	測定時間数 (時間)	日平均値のランク別出現日数とその割合							
					0.020ppm以下		0.021～0.039ppm		0.040～0.060ppm		0.061ppm以上	
					日数(日)	割合(%)	日数(日)	割合(%)	日数(日)	割合(%)	日数(日)	割合(%)
北部(立花北小学校)	0.016	0.037	350	8,449	275	78.6	73	20.9	2	0.6	0	0.0
中部(国設尼崎)	0.017	0.038	363	8,669	256	70.5	102	28.1	5	1.4	0	0.0
南部(城内高校)	0.022	0.043	363	8,661	183	50.4	167	46.0	13	3.6	0	0.0

表-2 二酸化窒素濃度測定結果(自動車排出ガス測定所)

(22年度)

測定所	年平均値 (ppm)	日平均値の年間98%値 (ppm)	有効測定日数 (日)	測定時間数 (時間)	日平均値のランク別出現日数とその割合							
					0.020ppm以下		0.021～0.039ppm		0.040～0.060ppm		0.061ppm以上	
					日数(日)	割合(%)	日数(日)	割合(%)	日数(日)	割合(%)	日数(日)	割合(%)
国道2号(浜田)	0.020	0.041	345	8,200	197	57.1	137	39.7	11	3.2	0	0.0
国道43号(武庫川)	0.028	0.052	362	8,666	103	28.5	193	53.3	66	18.2	0	0.0
県道尼崎宝塚線 (武庫荘総合高校)	0.027	0.048	363	8,663	104	28.7	223	61.4	36	9.9	0	0.0
県道米谷昆陽尼崎線 (砂田子ども広場)	0.026	0.043	340	8,184	103	30.3	215	63.2	22	6.5	0	0.0
県道尼崎池田線 (上坂部西公園)	0.024	0.041	363	8,667	130	35.8	221	60.9	12	3.3	0	0.0
市道尼崎豊中線 (園和小学校)	0.017	0.033	363	8,652	261	71.9	99	27.3	3	0.8	0	0.0

## イ 二酸化硫黄

一般環境大気測定所3ヵ所の年平均値の平均は0.002ppmで、近年やや減少か横ばいで推移している。(図-1)

3ヵ所すべての測定所で環境基準に適合していた。(表-3、資表-4)

表-3 二酸化硫黄測定結果(一般環境大気測定所)

(22年度)

測定所	年平均値 (ppm)	日平均値 の2%除外 値 (ppm)	有効 測定 日数(日)	測定 時間数 (時間)	日平均値 0.04ppmを超 えた日が2日 以上連続した ことの有無 (有×・無 )	環境基準の長 期的評価によ る日平均値 0.04ppmを超 えた日数 (日)	環境基準 適合率 (%)
北 部 (立花北小学校)	0.002	0.004	362	8,610		0	100.0
中 部 (国設尼崎)	0.002	0.005	362	8,667		0	100.0
南 部 (城内高校)	0.003	0.006	363	8,665		0	100.0

備考 環境基準適合率 = {(測定日数 - 長期的評価による 0.04ppm を超えた日数) ÷ 測定日数 × 100}

## ウ 浮遊粒子状物質

一般環境大気測定所3ヵ所の年平均値の平均は0.020mg/m<sup>3</sup>で、自動車排出ガス測定所2ヵ所の年平均値の平均は0.023mg/m<sup>3</sup>で、ともに近年やや減少している。(図-1、2)

5ヶ所すべての測定所において環境基準の長期的評価<sup>1</sup>、短期的評価<sup>2</sup>共に適合していた。(表-4、5、表-4、5)

表-4 浮遊粒子状物質測定結果(一般環境大気測定所)

(22年度)

測定所	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	日平均値0.10 mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無 (有×・無)	環境基準の長期的評価による日平均値0.10 mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)	環境基準適合率(%)
北部 (立花北小学校)	0.019	0.052	362	8,621		0	100.0
中部 (国設尼崎)	0.017	0.046	361	8,669		0	100.0
南部 (城内高校)	0.023	0.058	363	8,695		0	100.0

備考 環境基準適合率 = {(測定日数 - 長期的評価による0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数) ÷ 測定日数 × 100}

表-5 浮遊粒子状物質測定結果(自動車排出ガス測定所)

(22年度)

測定所	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	日平均値0.10 mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無 (有×・無)	環境基準の長期的評価による日平均値0.10 mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)	環境基準適合率(%)
国道43号 (武庫川)	0.025	0.060	365	8,670		0	100.0
県道米谷昆陽尼崎線 (砂田子ども広場)	0.020	0.053	360	8,624		0	100.0

備考 環境基準適合率 = {(測定日数 - 長期的評価による0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数) ÷ 測定日数 × 100}

1 長期的評価・・・1年を通じた評価(日平均値の2%除外値)

2 短期的評価・・・時間値(0.20mg/m<sup>3</sup>以下)又は日平均値(0.10mg/m<sup>3</sup>以下)の評価

## エ 光化学オキシダント

一般環境大気測定所3ヵ所の監視期間の平均値の平均は0.035ppmで、近年横ばいで推移している。(図 -

1)

3ヵ所すべての測定所で環境基準に適合していない。光化学スモッグ広報の発令はなかった。(表-6、資表-4、6)

表-6 光化学オキシダント測定結果

(22年度)

測定所	昼間の1時間値の監視期間平均値(ppm)	昼間測定日数(日)	昼間測定時間(時間)	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間		昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数と時間		環境基準適合率(%)
				(日)	(時間)	(日)	(時間)	
北部 (立花北小学校)	0.037	214	3,184	74	382	0	0	88.0
中部 (国設尼崎)	0.034	214	3,178	75	361	0	0	88.6
南部 (城内高校)	0.033	214	3,179	71	315	0	0	90.1

備考 環境基準適合率 = {(昼間測定時間 - 昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間) ÷ 昼間測定時間 × 100}  
監視期間とは4月～10月、昼間とは5時から20時までの時間帯をいう。

## オ 一酸化炭素

中部測定所の年平均値は 0.4ppm、自動車排出ガス測定所 3 ヶ所の年平均値の平均は 0.5ppm で、近年やや減少か横ばいで推移している。(図-1、2)

4 ヶ所すべての測定所で環境基準に適合していた。(表-7、8、資表-4、5)

表-7 一酸化炭素測定結果(一般環境大気測定所)

(22 年度)

測定所	年平均値 (ppm)	日平均値の 2% 除外値 (ppm)	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	日平均値 10ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの 有無 (有 ×・無 )	環境基準の 長期的評価 による日平均値 10ppm を超えた日 数 (日)	環境基準 適合率(%)
中部 (国設尼崎)	0.4	0.7	365	8,700		0	100.0

備考 環境基準適合率 = { (測定日数 - 長期的評価による 10ppm を超えた日数) ÷ 測定日数 × 100 }

表-8 一酸化炭素測定結果(自動車排出ガス測定所)

(22 年度)

測定所	年平均値 (ppm)	日平均値の 2% 除外値 (ppm)	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	日平均値 10ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの 有無 (有 ×・無 )	環境基準の 長期的評価 による日平均値 10ppm を超えた日 数 (日)	環境基準 適合率(%)
国道 43 号 (武庫川)	0.4	0.7	364	8,692		0	100.0
県道米谷昆陽尼崎線 (砂田子ども広場)	0.4	0.8	365	8,704		0	100.0
国道 43 号 (国設尼崎自排)	0.8	1.3	364	8,591		0	100.0

備考 環境基準適合率 = { (測定日数 - 長期的評価による 10ppm を超えた日数) ÷ 測定日数 × 100 }

## カ 微小粒子状物質 (PM2.5)

平成 12 年度に測定を開始し、現在、一般環境大気測定所 1 ヲ所、自動車排出ガス測定所 2 ヲ所で行っている。一般環境大気測定所の微小粒子状物質 (PM2.5) <sup>1</sup> の月別変化は 7  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  から 28  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  の範囲であった。自動車排出ガス測定所の微小粒子状物質の月別変化は 11  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  から 24  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  の範囲であった。(表-9、10)

表-9 微小粒子状物質測定結果 (一般環境大気測定所)

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

測定所	21 年度 年平均 値	22 年度												
		年平均値	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
中部 (国設尼崎)	18	17	10	9	18	20	15	7	12	19	15	12	28	20

\* TEOM 1405-DF による測定。

表-10 微小粒子状物質測定結果 (自動車排出ガス測定所)

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

測定所	21 年度 年平均 値	22 年度												
		年平均値	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
国 43 号 (武庫川)	20	17	15	19	19	19	19	14	16	18	15	11	21	18
国 43 号 (国設尼崎 自排)	21	20	16	22	21	20	21	17	21	23	19	16	24	19

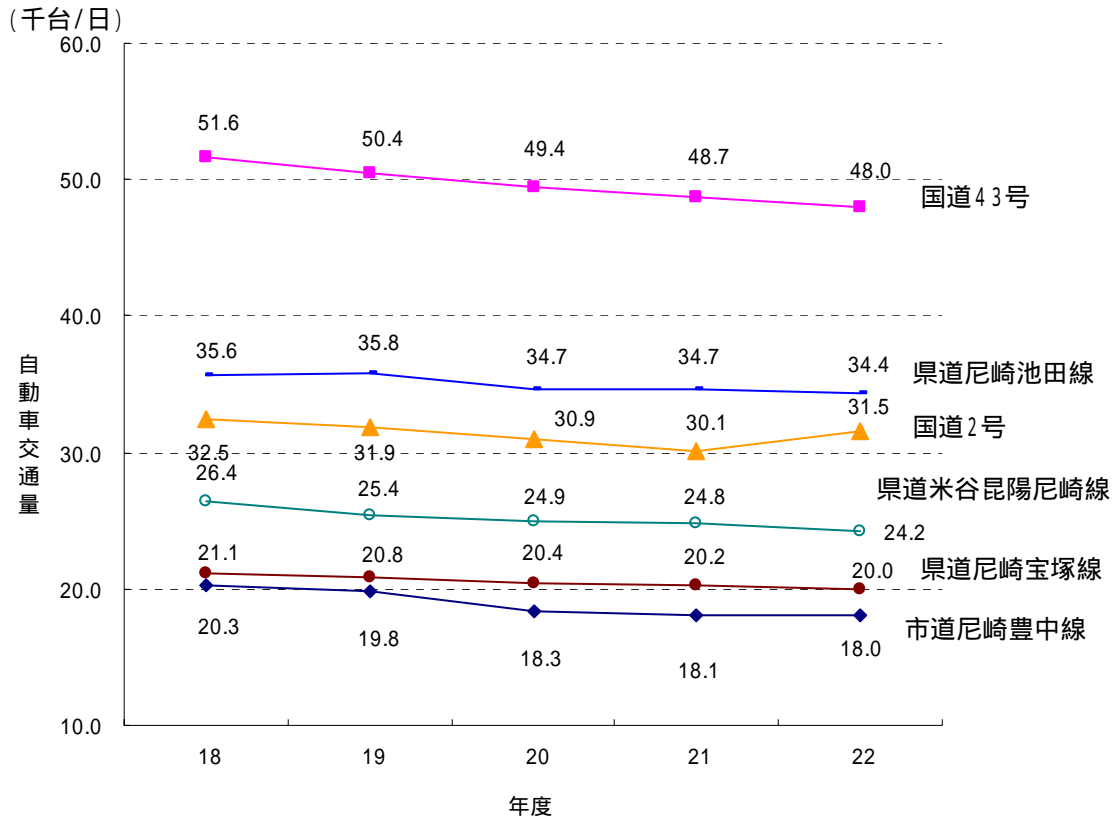
\* TEOM 1400a による測定

<sup>1</sup> 微小粒子状物質 (PM2.5) とは大気中に浮遊している粒径が 2.5  $\mu\text{m}$  以下の粒子の総称をいう。平成 21 年 9 月に環境基準が設定されたが、平成 22 年 10 月の自動測定器の等価性評価試験に適合しなかったため、測定結果は参考値。

## 自動車交通量の現況

市内主要幹線道路における自動車交通量は、近年横ばいか、やや減少傾向で推移している。(図-3、資-8)

図-3 自動車交通量の推移



### まとめ

二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素の年平均値の平均は、一般環境大気測定所、自動車排出ガス測定所とも近年やや減少か横ばいの傾向で、また、一般環境測定所で測定している二酸化硫黄はやや減少か横ばい、光化学オキシダントは横ばいの傾向で推移している。

環境基準と比較すると、二酸化窒素、一酸化炭素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の4物質については、すべての測定所で適合しているが、光化学オキシダントについてはすべての一般環境測定所で適合していない。

## 2 自動車騒音

自動車排出ガス測定所 6 ヲ所で行った。昼間では 1 ヲ所が環境基準に適合せず、夜間では 3 ヲ所が適合していなかった。(表-11)

表-11 自動車騒音(LAeq)の推移(自動車騒音測定所)

(単位:デシベル)

測定所	時間区分	22 年度	環境基準
国道 2 号(浜田)	昼間	67	70 以下
	夜間	63	65 以下
国道 43 号(武庫川)	昼間	68	70 以下
	夜間	65	65 以下
県道尼崎宝塚線 (武庫荘総合高校)	昼間	69	70 以下
	夜間	66	65 以下
県道米谷昆陽尼崎線 (砂田子ども広場)	昼間	71	70 以下
	夜間	66	65 以下
県道尼崎池田線(上坂部西公園)	昼間	70	70 以下
	夜間	67	65 以下
市道尼崎豊中線(園和小学校)	昼間	69	70 以下
	夜間	64	65 以下

時間区分の昼間は午前 6 時から午後 10 時まで、夜間は午後 10 時から翌日の午前 6 時まで

□ は環境基準に適合しないもの

## 定期監視

### 1 大気汚染

#### 有害大気汚染物質

有害大気汚染物質の調査は、一般環境測定所(南部測定所)及び自動車排出ガス測定所(武庫川測定所)の2ヶ所で実施した。

環境基準が設定されている項目についてはいずれの地点も環境基準に適合していた。(表-12、13)

表-12 有害大気汚染物質調査結果[一般環境大気測定所](22年度)

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

物質名	最大値	最小値	平均値	環境基準
ジクロロメタン	4.8	0.42	1.8	150 以下
テトラクロロエチレン	0.78	0.061	0.33	200 以下
トリクロロエチレン	2.5	0.18	1.0	200 以下
ベンゼン	2.4	0.34	1.0	3 以下
アクリロニトリル	0.22	不検出	0.0053	-
塩化ビニルモノマー	0.059	不検出	0.019	-
クロロホルム	0.66	0.10	0.28	-
1,2-ジクロロエタン	0.26	0.026	0.095	-
1,3-ブタジエン	0.42	0.044	0.16	-
アセトアルデヒド	4.9	1.1	2.9	-
ホルムアルデヒド	5.7	0.77	3.6	-
ニッケル化合物	51	3.0	18	-
バリウム及びその化合物	0.066	不検出	0.032	-
マンガン及びその化合物	460	7.5	100	-
クロム及びその化合物	180	6.8	37	-
ヒ素及びその化合物	3.6	0.32	1.3	-
水銀及びその化合物	2.9	0.69	2.0	-
ベンゾ[a]ピレン	0.59	0.049	0.16	-
酸化エチレン	0.15	0.026	0.079	-

備考 の単位は、 $\text{ng}/\text{m}^3$

平成 21 年度より年 12 回の測定の結果

表-13 有害大気汚染物質調査結果[自動車排出ガス測定所](22年度)

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

物質名	最大値	最小値	平均値	環境基準
ジクロロメタン	2.6	0.33	1.0	150 以下
テトラクロロエチレン	0.48	不検出	0.18	200 以下
トリクロロエチレン	0.81	0.022	0.25	200 以下
ベンゼン	2.5	0.35	1.1	3 以下
1,3-ブタジエン	0.51	0.068	0.23	-
アセトアルデヒド	4.3	1.1	2.5	-
ホルムアルデヒド	6.0	0.81	3.2	-
ベンゾ[a]ピレン	0.64	0.058	0.20	-

備考 年 12 回測定

の単位は、 $\text{ng}/\text{m}^3$

## ダイオキシン類

ダイオキシン類の一般環境大気調査は、城内高校測定所(南部測定所)及び尼崎東高等学校の2ヵ所で、夏、冬の年2回行った。

また、ダイオキシン類の水質及び底質調査は、庄下川水系の尾浜橋、尾浜大橋及び庄下川橋並びに蓬川水系の南豊池橋の4地点で年1回行った。

土壌についてダイオキシン類の調査は、城内高校において年1回行った。

すべての地点で大気、水質、底質、土壌ともに環境基準に適合していた。(表-14)

表-14 ダイオキシン類調査結果(22年度)

測定地点	一般環境大気 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )			河川(水質) (pg-TEQ/L)	河川(底質) (pg-TEQ/g)	土壌 (pg-TEQ/g)
	夏	冬	平均	冬	冬	秋
城内高校測定所	0.079	0.028	0.054	-	-	-
尼崎東高校	0.040	0.020	0.030	-	-	-
尾浜橋	-	-	-	0.17	8.0	-
尾浜大橋	-	-	-	0.068	0.46	-
庄下川橋	-	-	-	0.22	4.4	-
南豊池橋	-	-	-	0.083	0.68	-
城内高校	-	-	-	-	-	0.76
環境基準	-		0.6以下	1以下	150以下	1000以下

## 酸性雨

中部測定所で測定したpHの年平均値は4.83で、月別変化は4.52から5.22の範囲にあった。(表-15)

表-15 尼崎市における酸性雨の状況(中部測定所)

項目	21年度	22年度												年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
pH値 (月平均値)	4.73	5.22	5.10	4.72	4.83	4.74	4.90	4.98	4.70	4.68	-	4.70	4.52	4.83

## アスベスト（石綿）

22年度は4地点でアスベストの環境測定を実施したが、いずれも低い濃度であった。（表-16）

表-16 アスベスト測定結果

（単位：本/L）

観測地点	19年度			20年度			21年度			22年度		
	5~6月	9月	11月	6月	9月	1月	5月	9月	1月	5月	9月	1月
中部 (国設尼崎)	不検出	0.057	不検出	0.14	0.42	0.30	0.34	0.29	0.16	0.35	0.10	0.13
衛生研究所 (ハーティ21)	不検出	0.057	不検出	0.63	0.37	0.06	0.18	0.28	0.11	0.43	0.14	0.05
国道43号 (国設尼崎自排)	0.11	不検出	不検出	0.31	0.48	0.23	0.23	0.32	0.20	0.32	0.09	0.22
浜小学校	0.11	0.057	不検出	0.33	0.20	0.25	0.22	0.18	0.25	0.28	0.13	0.22

備考 1 「不検出」の検出下限値は、19年9月以降が0.057本/L、その他が0.11本/L

2 大気汚染防止法の石綿製品製造工場における敷地境界の規制基準：10本/L

### まとめ

有害大気汚染物質についてはいずれの地点も環境基準に適合しており、ダイオキシン類についても、大気、水質、底質、土壌とも環境基準に適合していた。

酸性雨については、pHの年平均値は4.83であった。

大気中のアスベスト濃度については、すべての地点において低い濃度であった。

## 2 交通騒音・振動

### 自動車騒音・振動

#### 騒音

夜間では 5 地点で環境基準に適合しておらず、このうち 1 地点は昼間も環境基準に適合しなかった。(表-17)

表-17 主要 13 幹線道路交通騒音(22 年度)

道路 No	道路名	地点 No	測定場所	用途地域	騒音値(L <sub>Aeq</sub> ) (デシベル)			交通量 (台/日)	
					昼間	夜間	日平均	交通量	前年度比
1	名神高速	1	弥生ヶ丘町 1	2 種住居	69	67	68	53,461	0.96
		2	久々知 2-29-13	工業	69	64	68	51,861	0.92
		3	水堂町 1-11-18	1 種住居	69	65	68	45,059	1.02
2	国道 43 号	4	南城内 2-35	準工業	69	66	69	-	-
		5	武庫川町 1-25	準住居	68	65	67	51,195	1.01
3	国道 2 号	6	杭瀬本町 3	近隣商業	69	66	68	-	-
		7	大庄北 5-2	近隣商業	66	63	66	32,520	1.09
4	国道 171 号	8	西昆陽 1-26	準住居	68	63	67	-	-
5	五合橋線	9	東難波町 3-20	準住居	69	64	68	-	-
		10	南塚口町 7-17	準住居	70	65	69	25,070	0.98
6	山幹通り	11	下坂部 3-21-18	準工業	69	64	68	-	-
		12	南塚口町 6-10	工業	67	64	67	-	-
7	尼宝線	13	大庄西町 2-4	準住居	69	65	68	-	-
		14	武庫之荘 8-31	2 種住居	69	66	68	20,255	1.02
8	園田西武庫線	15	武庫之荘 3-16	1 種住居	64	59	63	-	-
9	近松線	16	次屋 2-3-1	工業	67	63	66	-	-
10	長洲線	17	長洲東通 2-12-1	1 種住居	67	60	65	-	-
11	園田橋線	18	東園田町 4-79	1 種住居	69	65	68	17,980	1.00
12	玉江橋線	19	東難波町 5-29-55	工業	68	64	67	-	-
		20	東塚口 2-2	1 種住居	71	67	70	35,430	0.98
13	久々知水堂線	21	名神町 1-2-32	準工業	66	63	65	-	-

備考 1 騒音に係る環境基準(幹線道路を担う道路に近接する区域)は昼間 70 デシベル以下、夜間 65 デシベル以下。

■ は、環境基準に適合しないもの

2 時間区分については、昼間は午前 6 時～午後 10 時、夜間は午後 10 時～午前 6 時

## 振動

すべての地点において昼間、夜間ともに振動の要請限度を下回っている。(表-18)

表-18 主要 12 幹線道路交通振動(22 年度)

(単位:デシベル)

道路 No	道路名	地点 No	測定場所	用途地域	振動値			要請限度	
					昼間	夜間	日平均	昼間	夜間
1	名神高速	1	水堂町 1-11-18	1 種住居	44	43	43	65 以下	60 以下
2	国道 43 号	2	武庫川町 1-25	準住居	44	42	43	65 以下	60 以下
3	国道 2 号	3	杭瀬本町 3	近隣商業	36	31	34	70 以下	65 以下
4	国道 171 号	4	西昆陽 1-26	準住居	34	31	32	65 以下	60 以下
5	五合橋線	5	東難波町 3-20	準住居	42	36	39	65 以下	60 以下
		6	南塚口町 7-17	準住居	41	34	37	65 以下	60 以下
6	山幹通り	7	下坂部 3-21-18	準工業	39	38	39	70 以下	65 以下
7	尼宝線	8	大庄西町 2-4	準住居	43	37	40	65 以下	60 以下
		9	武庫之荘 8-31	2 種住居	40	35	37	65 以下	60 以下
8	園田西武庫線	10	武庫之荘 3-16	1 種住居	31	30	30	65 以下	60 以下
9	近松線	11	次屋 2-3-1	工業	40	33	36	70 以下	65 以下
10	長洲線	12	長洲東通 2-12-1	1 種住居	40	30	34	65 以下	60 以下
11	園田橋線	13	東園田町 4-79	1 種住居	43	37	39	65 以下	60 以下
12	玉江橋線	14	東難波町 5-29-55	2 種住居	46	41	43	65 以下	60 以下

備考 時間区分については、昼間は午前 8 時～午後 7 時、夜間は午後 7 時～午前 8 時

## 山陽新幹線騒音・振動

4 地区 24 地点における調査結果は、騒音は 5 地点で環境基準に適合してなかった。

振動は、新幹線鉄道振動対策指針値(70 デシベル以下)に適合しない地点はなかった。(表 19)

表-19 山陽新幹線 騒音・振動測定結果(22 年度)

地区名	上り下り線 側の別	騒音(デシベル)			振動(デシベル)			列車速度 (km/h)
		側道端	25m	50m	側道端	25m	50m	
武庫地区	上り線側	70	67	64	54	52	46	216
	下り線側	69	66	66	57	52	50	219
猪名寺地区	上り線側	73	69	65	51	52	49	212
	下り線側	72	71	69	52	50	47	217
食満地区	上り線側	71	67	63	54	54	51	212
	下り線側	72	69	68	59	57	49	214
小中島地区	上り線側	65	62	60	62	56	50	191
	下り線側	68	62	62	57	52	49	198

備考1  は環境基準(70 デシベル以下)に適合していないもの

- 2 騒音、振動は上り及び下りの列車を合わせて 20 本測定し、上位 10 本を騒音はパワー平均、振動は算術平均
- 3 列車速度は、25m 地点騒音の上位 10 本に対応する速度平均
- 4 振動の環境保全上緊急を要する対策指針値は 70 デシベル以下

### まとめ

主要 13 幹線の道路交通騒音の定点(21 地点)調査結果から時間の区分ごとの環境基準適合状況をみると、昼間 20 地点、夜間 16 地点で環境基準に適合していた。

道路交通振動は、14 地点すべてが要請限度以下であった。

新幹線の騒音の定点(24 地点)では、19 地点で環境基準に適合し、振動についてはすべての地点で指針値を下回っていた。

### 3 水質汚濁

#### 公共用水域

##### 公共用水域水質調査地点

市内4河川及び尼崎港周辺海域の水質汚濁の状況を把握するため、河川 11 地点、海域 2 地点、運河域 1 地点で、定期的に生物化学的酸素要求量 (BOD) 等について調査した。(資図-4)

#### 水系別調査結果

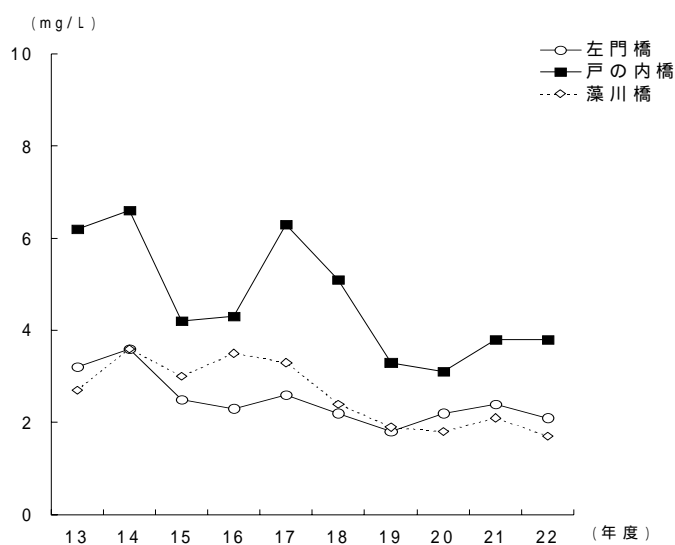
##### ア 神崎川水系

河川における有機汚濁の代表的な指標とされる BOD の年平均値は、前年度とほぼ同程度であり、ここ 10 年間変動があるもののほぼ横ばいで推移している。(図-4、資表-9)

すべての地点で環境基準<sup>1</sup>に適合していた。(表-20)

また、健康項目(カドミウム、全シアン等 26 項目)は、すべての地点で環境基準に適合していた。

図-4 神崎川水系 BOD 濃度(年平均値)の推移



##### イ 武庫川水系

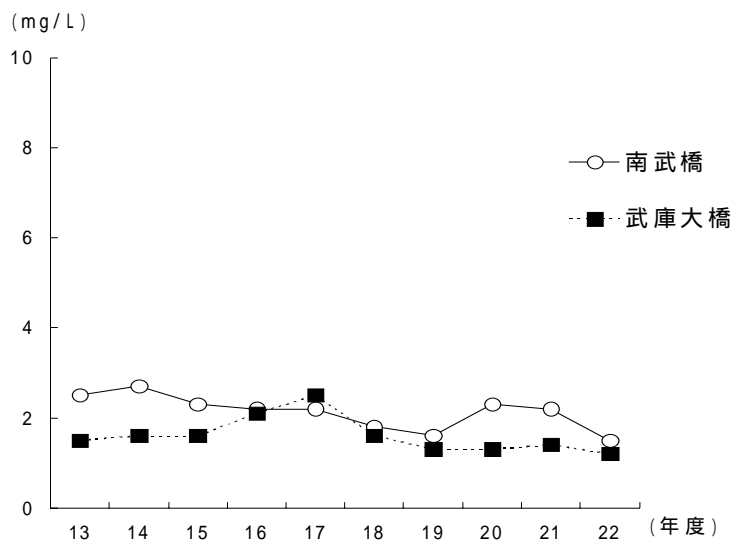
BOD の年平均値はここ 10 年間ほぼ横ばいで推移している。(図-5、資表-9)

BOD はすべての地点で環境基準に適合していた。(表-20)

また、健康項目も、すべての地点で環境基準に適合していた。

<sup>1</sup> BOD や COD の環境基準適合状況は年間の平均値を低い方から順に並べて、全体の 75% 目に該当する値で評価する。

図-5 武庫川水系 BOD 濃度(年平均値)の推移



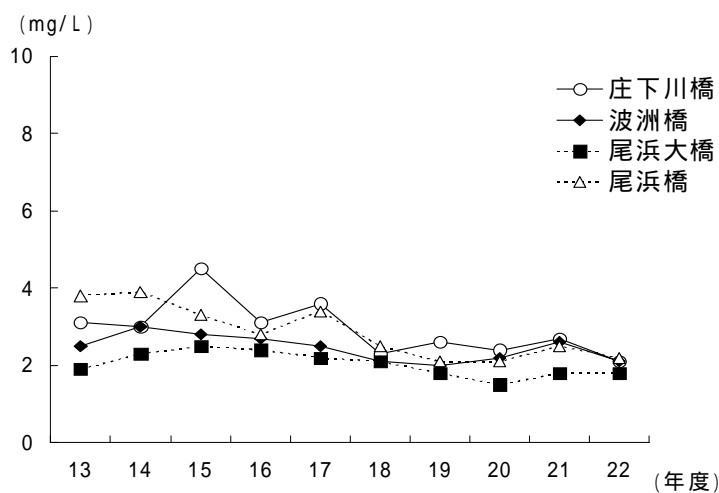
ウ 庄下川水系

BOD の年平均値はここ 10 年間ほぼ横ばいで推移している。(図-6、資表-9)

BOD はすべての地点で環境基準に適合していた。(表-20)

また、健康項目も、すべての地点で環境基準に適合していた。

図-6 庄下川水系 BOD 濃度(年平均値)の推移



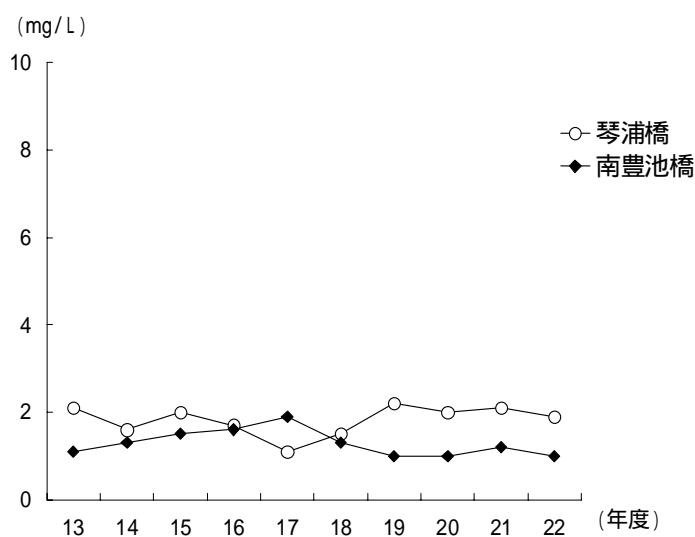
エ 蓬川水系

BOD の年平均値はここ 10 年間ほぼ横ばいで推移している。(図-7、資表-9)

BOD はすべての地点で尼崎市の環境をまもる条例に定められている環境上の基準に適合していた。(表-20)

また、健康項目も、すべての地点で環境基準に適合していた。

図-7 蓬川水系 BOD 濃度(年平均値)の推移



オ 海域・運河

有機汚濁の代表的指標とされる化学的酸素要求量(COD)の年平均値については、ここ 10 年間変動があるもののほぼ横ばいで推移している。(図-8、資表-9)

海域の COD はすべての地点で環境基準に適合した。(表-20)

運河(開門)の COD は尼崎市の環境をまもる条例に定められている環境上の基準を超過した。(表-20)

また、健康項目はすべて環境基準に適合した。

図-8 海域・運河 COD 濃度(年平均値)の推移

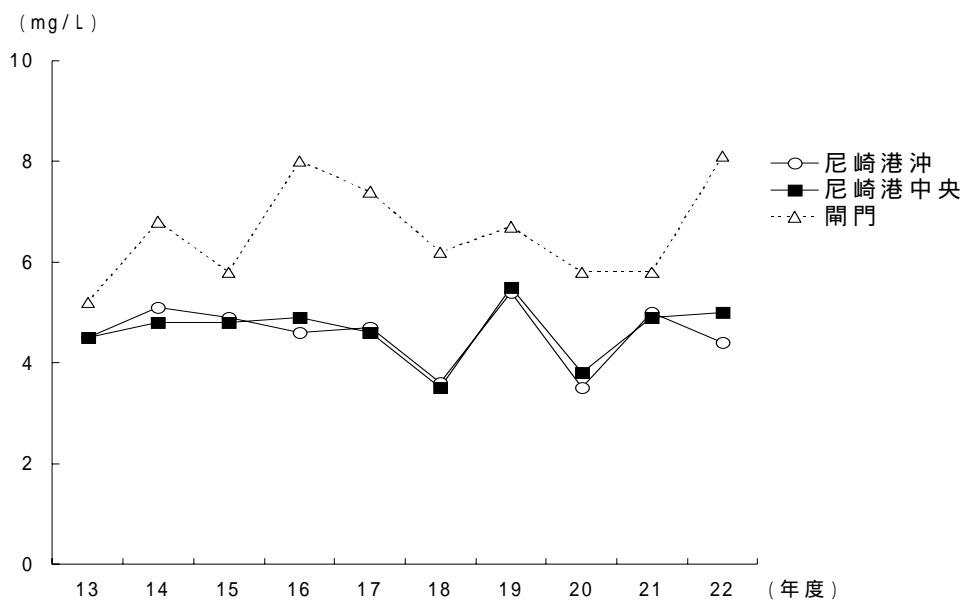


表-20 水質調査結果(22年度)

(単位:水素イオン濃度を除き mg/L)

水系	調査地点	水素イオン濃度			生物化学的酸素要求量					浮遊物質量			溶存酸素量		
		pH			BOD					SS			DO		
		平均	最大	最小	平均	最大	最小	75% 値	環境 基準	平均	最大	最小	平均	最大	最小
神崎川	左門橋	7.1	7.6	6.9	2.1	3.9	1.2	2.0	3 以下	5	9	2	6.7	9.5	5.0
	戸の内橋	7.1	7.2	6.9	3.8	11	1.7	4.2	8 以下	4	8	<1	6.9	10	4.1
	藻川橋	7.2	7.4	6.8	1.7	3.9	0.5	1.8	3 以下	3	7	1	7.6	11	4.3
武庫川	南武橋	7.9	8.3	7.6	1.5	2.1	0.8	1.6	5 以下	4	8	2	9.0	11	6
	武庫大橋	7.9	8.5	7.5	1.2	1.7	0.5	1.3		3	9	<1	9.5	12	7.0
庄下川	庄下川橋	7.7	9.0	7.4	2.1	3.0	1.2	2.5	5 以下	7	11	2	9.1	12	6.4
	波洲橋	7.9	8.9	7.5	2.1	2.8	1.4	2.6		6	11	2	9.9	15	6.5
	尾浜大橋	7.5	7.8	7.4	1.8	5.4	0.7	2.3		4	10	1	8.0	11	4.9
	尾浜橋	7.8	8.3	7.5	2.2	4.4	1.4	2.2		7	13	2	9.5	13	5.2
蓬川	琴浦橋	7.6	8.2	7.3	1.9	2.6	1.3	2.2	5 以下	2	4	1	7.7	13	3.8
	南豊池橋	7.5	8.2	7.3	1.0	1.8	0.6	1.1		3	6	1	7.9	10	2.9
運河	閘門	7.9	9.1	7.4	8.1	20	3.4	8.6	8 以下	-	-	-	9.8	19	<0.5
海域	尼崎港中央	8.3	9.0	8.0	5.0	7.8	2.7	5.3	8 以下	-	-	-	9.6	15	5.7
	尼崎港沖	8.2	8.8	7.9	4.4	7.4	3.0	4.9		-	-	-	9.0	12	5.2

備考 1 生物化学的酸素要求量(BOD)の測定結果のうち、運河と海域については化学的酸素要求量(COD)の測定結果を示している。

2 平均の欄の数値は日間平均値の年間平均値を示し、最大、最小の欄の数値は生物化学的酸素要求量の欄については日間平均値の最大、最小を示し、その他の項目については全測定値の最大、最小を示している。

尼崎市の環境をまもる条例に基づく環境上の基準

### 地下水

概況調査4地点、定期モニタリング4地点のうち、過去に環境基準に適合しなかった定期モニタリング1地点で今年度も健康 1 項目(テトラクロロエチレン)が環境基準に適合しなかった。その他の地点はすべて環境基準に適合していた。(資図-5、資表-10)

### まとめ

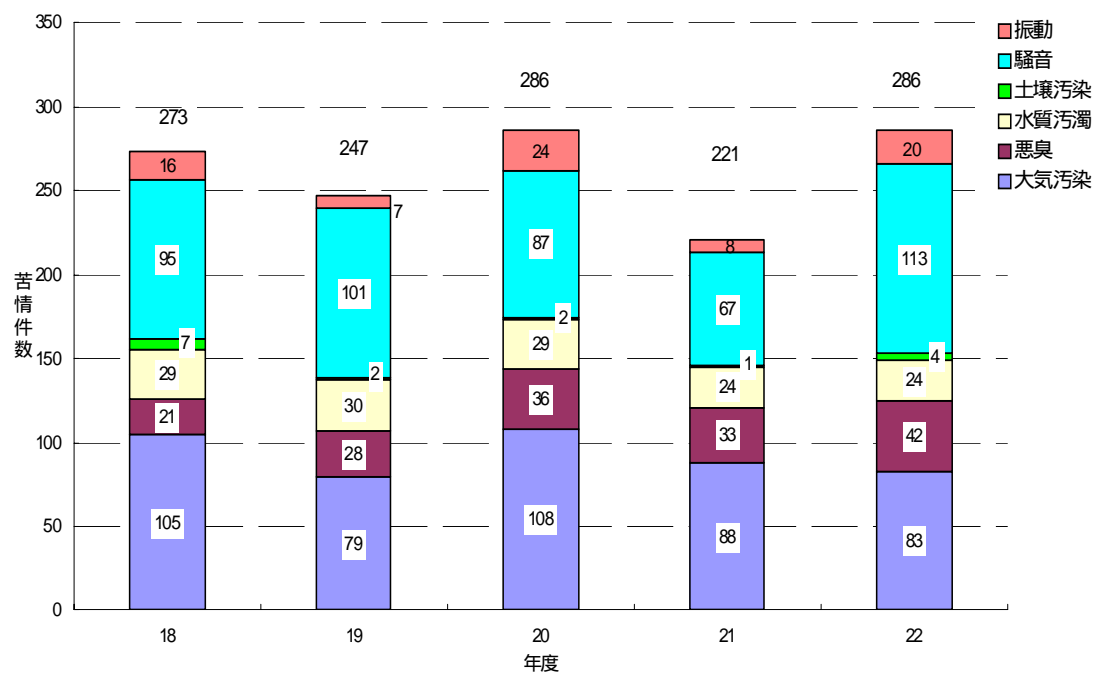
河川のBOD、海域・運河のCODについては、近年ほぼ横ばいで推移しており、運河(閘門)で環境上の基準を超えていたが、その他の地点は環境基準(蓬川は環境上の基準)に適合していた。

健康項目については、全地点において環境基準に適合していた。

## 公害に関する苦情

市民から寄せられた公害に関する苦情は286件でその約7割が大気汚染と騒音であり、全体の件数は前年度より増加した。(図-9)

図-9 苦情件数の推移





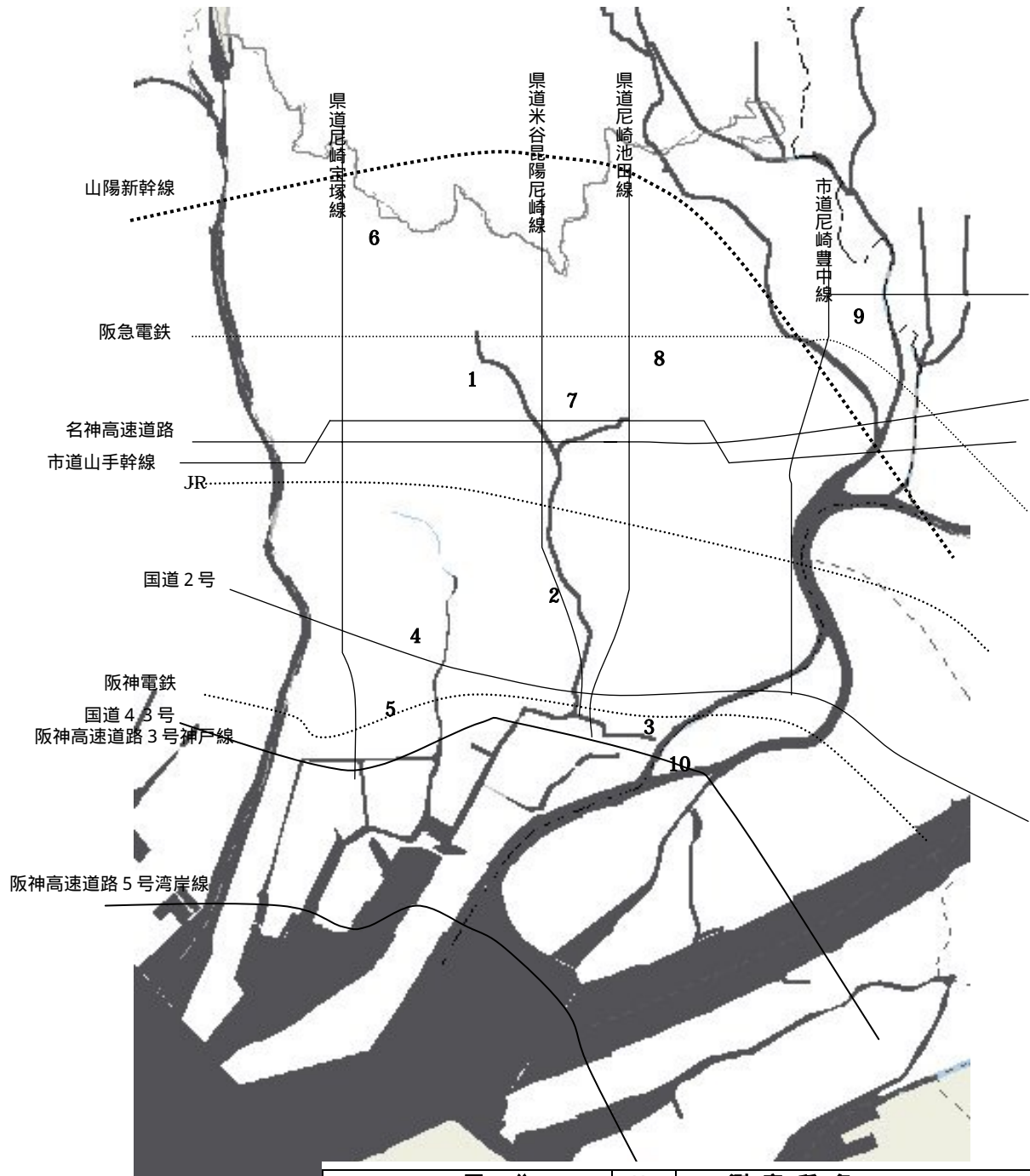
# 資 料

## (平成 22 年度における環境の現況)

資図-1 測定所配置図 .....	22
資表-1 常時監視の場所と項目 .....	23
資表-2 気象の測定結果 .....	24
資表-3 平均風速の推移 .....	24
資図-2 風配図 .....	25
資図-3 熱帯夜と真夏日の日数の推移 .....	25
資表-4 大気汚染状況の推移(一般環境大気測定所) .....	26
資表-5 大気汚染状況の推移(自動車排出ガス測定所) .....	27
資表-6 光化学スモッグ広報発令回数の推移(尼崎市域) .....	28
資表-7 自動車交通量の推移(尼崎市域) .....	28
資表-8-(1) 月別気象概況(中部測定所(国設尼崎)) .....	29
資表-8-(2) 月別気象概況(中部測定所(国設尼崎)) .....	30
資図-4 公共用水域水質調査地点 .....	31
資表-9 水質汚濁状況(年平均値)の推移 .....	32
資表-10 地下水調査結果 .....	33
資図-5 地下水調査メッシュ図 .....	33



資図-1 測定所配置図



区分		No	測定所名
一般環境大気測定所 (3 測定所)		1	北部(立花北小学校)
		2	中部(国設尼崎)
		3	南部(城内高校)
自動車排出ガス・騒音 交通量測定所 (7 測定所)		4	国道2号(浜田)
		5	国道43号(武庫川)
		6	国道尼崎宝塚線(武庫荘総合高校)
		7	国道米谷昆陽尼崎線(砂田こども広場)
		8	国道尼崎池田線(上坂部西公園)
		9	市道尼崎豊中線(園和小学校)
		10	国道43号(国設尼崎自排)

資表-1 常時監視の場所と項目

(22年度)

分類	地点番号	測定所名	住所	二酸化硫黄	一酸化窒素	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	オキシダント	一酸化炭素	メタン	非メタン炭化水素	風向風速	気温湿度	降水量白射量	酸性雨紫外線	騒音	交通量		
一般環境	1	北部(立花北小学校)	栗山町 2-6-1																	
	2	中部(国設尼崎) 1	東難波町 4-9-12 2																	
	3	南部(城内高校)	北城内 47-1																	
自動車	4	国道2号(浜田)	大庄北 5-2-1 地先																	
	5	国道43号(武庫川)	武庫川町 1-25																	
	6	県道尼崎宝塚線(武庫荘総合高校)	武庫之荘 8-31-1																	
	7	県道米谷昆陽尼崎線(砂田子ども広場)	南塚口町 7-17																	
	8	県道尼崎池田線(上坂部西公園)	東塚口町 2-2																	
	9	市道尼崎豊中線(園和小学校)	東園田町 4-79																	
	10	国道43号(国設尼崎自排) 1	東本町 4-47 地先																	

- 備考 1 「国設尼崎」は「国設尼崎大気環境測定所」、「国設尼崎自排」は「国設尼崎自動車交通環境測定所」で、環境省の委託を受けて市が管理
- 2 19年3月に移転(旧住所:東難波町4-16-21)して、同年4月から現住所で測定

資表-2 気象の測定結果

(1) 月別最多風向・平均風速

(風向:16方位、風速:m/秒)

測定所	項目	22年度												年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北部 (立花北小学校)	最多風向	北	南西	南西	南西	南西	南西	北	北	西南西	西	北	北	北
	平均風速	3.1	3.1	2.9	3.1	3.3	3.0	2.7	2.2	2.8	2.7	2.3	2.6	2.8
中部 (国設尼崎)	最多風向	北	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	北	北	西	西	北	北	西南西
	平均風速	2.1	2.0	1.9	1.9	2.1	2.1	1.9	1.5	1.9	1.9	1.5	1.8	1.9
南部 (城内高校)	最多風向	北東	北東	南西	南西	南西	南西	北東	北東	西	西	北東	北北西	北東
	平均風速	2.8	2.7	2.7	2.9	3.1	2.8	2.4	2.2	2.8	2.8	2.1	2.6	2.7

(2) 気温、湿度、降水量、日射量の月別変化(中部測定所(国設尼崎))

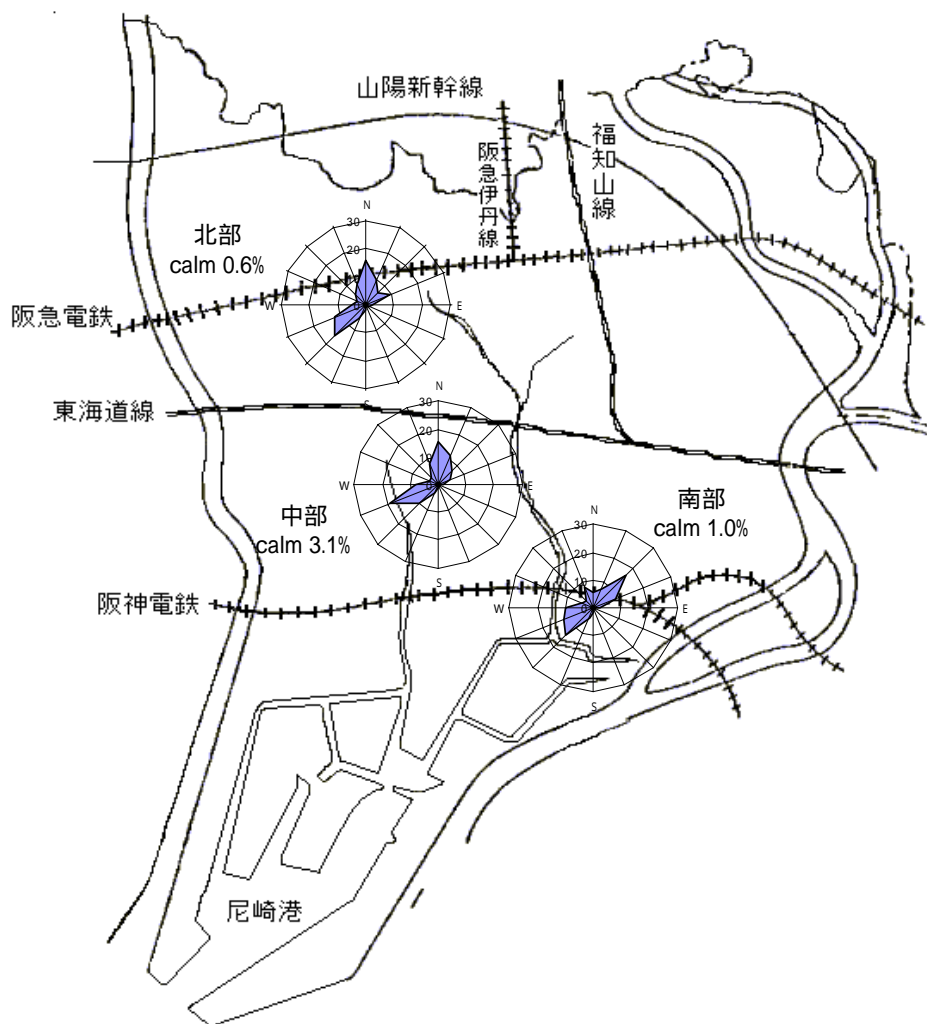
項目	22年度												年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
気温(月平均 )	13.6	18.9	24.1	28.0	30.5	26.8	20.3	13.2	8.8	4.2	7.4	8.0	17.0
湿度(月平均%)	57	59	66	69	63	61	62	58	57	53	58	55	60
降水量(全mm)	153.0	163.5	262.0	195.5	41.0	114.0	133.0	17.5	65.5	0.0	86.5	62.0	1,293.5
全天日射量(日量平均 MJ/m <sup>2</sup> )	15.50	18.76	17.49	18.45	20.95	15.55	10.89	9.41	7.69	9.91	10.70	15.13	14.23

資表-3 平均風速の推移

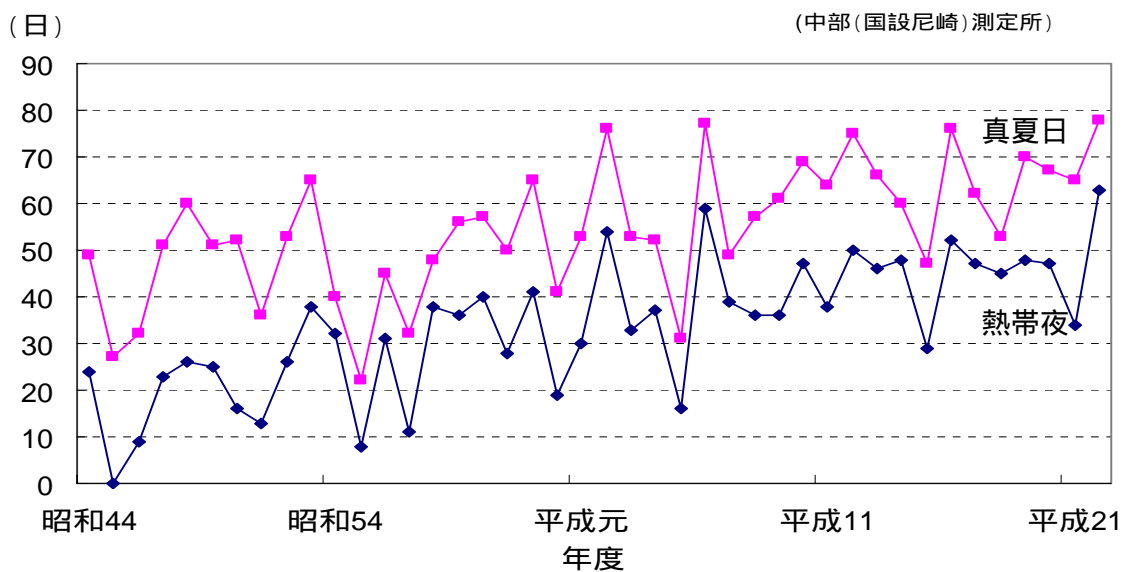
(風速:m/秒)

測定所	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
北部(立花北小学校)	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	2.7	2.7	2.8
中部(国設尼崎)	2.8	2.9	3.0	2.9	3.0	3.0	2.7	2.0	1.8	1.9	1.9
南部(城内高校)	2.8	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.7	2.8	2.7	2.6	2.7

資図-2 風配図



資図-3 熱帯夜と真夏日の日数の推移



備考 真夏日は日最高気温が30 以上の日、熱帯夜は日最低気温が25 以上の日(1時間値から算出)

資表-4 大気汚染状況の推移(一般環境大気測定所)

測定所	年度	二酸化窒素		浮遊粒子状物質		二酸化硫黄		一酸化炭素		光化学オキシダント			
		年平均値	日平均値の年間の98%値	年平均値	日平均値の2%除外値	年平均値	日平均値の2%除外値	年平均値	日平均値の2%除外値	昼間の期間の平均値	1時間値が0.06ppmを超えた時間数及び適合率		
		(ppm)		(mg/m <sup>3</sup> )		(ppm)		(ppm)		(ppm)	時間	適合率(%)	
北部(金花北小学校)	18	0.020	0.046	0.024	0.054		0.002	0.005			0.041	598	81.1
	19	0.018	0.038	0.021	0.061		0.002	0.005			0.041	558	82.3
	20	0.018	0.040	0.021	0.048		0.002	0.005			0.042	678	78.4
	21	0.017	0.039	0.020	0.044		0.001	0.004			0.042	608	80.8
	22	0.016	0.037	0.019	0.052		0.002	0.004			0.037	382	88.0
中部(国設尼崎)	18	0.024	0.051	0.027	0.058		0.005	0.010	0.5	1.0	0.033	274	91.3
	19	0.022	0.046	0.025	0.061		0.005	0.010	0.5	0.9	0.035	257	91.8
	20	0.022	0.046	0.023	0.046		0.004	0.008	0.5	0.9	0.034	214	90.0
	21	0.017	0.038	0.018	0.041		0.002	0.005	0.4	0.9	0.034	294	90.8
	22	0.017	0.038	0.017	0.046		0.002	0.005	0.4	0.7	0.034	361	88.6
南部(城内高校)	18	0.028	0.056	0.031	0.065		0.003	0.008			0.036	413	87.0
	19	0.025	0.047	0.028	0.069		0.003	0.008			0.037	428	86.5
	20	0.024	0.046	0.024	0.055		0.003	0.007			0.038	508	84.0
	21	0.022	0.044	0.023	0.046		0.002	0.006			0.039	501	84.2
	22	0.022	0.043	0.023	0.058		0.003	0.006			0.033	315	90.1
環境基準	0.06ppm 以下		0.1mg/m <sup>3</sup> 以下		0.04ppm 以下		10ppm 以下		0.06ppm 以下				

日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したことの有無(有×、無 )

資表-5 大気汚染状況の推移(自動車排出ガス測定所)

測定所	年度	二酸化窒素		浮遊粒子状物質			一酸化炭素	
		年平均値	日平均値 の年間 98%値	年平均値	日平均値 の2%除 外値		年平均値	日平均値 2%除外 値
		(ppm)		(mg/m <sup>3</sup> )			(ppm)	
国道2号 (浜田)	18	0.025	0.053					
	19	0.023	0.043					
	20	0.022	0.042					
	21	0.020	0.040					
	22	0.020	0.041					
国道43号 (武庫川)	18	0.033	0.063	0.033	0.068		0.6	1.0
	19	0.029	0.054	0.027	0.068		0.5	0.9
	20	0.029	0.054	0.027	0.059		0.5	0.9
	21	0.027	0.056	0.025	0.051		0.4	0.8
	22	0.028	0.052	0.025	0.060		0.4	0.7
国道43号 (国設尼崎自排)	18						1.1	1.8
	19						1.0	1.5
	20						0.9	1.4
	21						0.8	1.4
	22						0.8	1.3
県道尼崎宝塚線 (武庫荘総合高 校)	18	0.032	0.054					
	19	0.028	0.048					
	20	0.028	0.047					
	21	0.027	0.050					
	22	0.027	0.048					
県道米谷昆陽尼 崎線 (砂田子ども広場)	18	0.035	0.060	0.029	0.062		0.7	1.1
	19	0.032	0.051	0.025	0.063		0.6	1.0
	20	0.030	0.049	0.024	0.052		0.5	0.9
	21	0.028	0.048	0.021	0.043		0.5	0.9
	22	0.026	0.043	0.020	0.053		0.4	0.8
県道尼崎池田線 (上坂部西公園)	18	0.029	0.054					
	19	0.028	0.047					
	20	0.026	0.044					
	21	0.024	0.043					
	22	0.024	0.041					
市道尼崎豊中線 (園和小学校)	18	0.024	0.045					
	19	0.020	0.036					
	20	0.018	0.034					
	21	0.018	0.034					
	22	0.017	0.033					
環境基準		0.06ppm 以下		0.1mg/m <sup>3</sup> 以下			10ppm 以下	

備考  は環境基準に適合しないもの  
 日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したことの有無(有×、無 )

資表-6 光化学スモッグ広報発令回数推移(尼崎市域)

(単位:回)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予 報	5	0	0	2	0
注 意 報	7	0	1	2	0

資表-7 自動車交通量の推移(尼崎市域)

(単位:台)

道 路 名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
国道2号	32,500	31,900	30,900	30,100	31,500
国道43号	51,600	50,400	49,400	48,700	48,000
県道尼崎宝塚線	21,100	20,800	20,400	20,200	20,000
県道米谷昆陽尼崎線	26,400	25,400	24,900	24,800	24,200
県道尼崎池田線	35,600	35,800	34,700	34,700	34,400
市道尼崎豊中線	20,300	19,800	18,300	18,100	18,000

資表-8-(1) 月別気象概況(中部測定所(国設尼崎))

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
気温 (℃)	12	13.9	20.2	22.9	28.0	29.0	25.2	19.2	14.0	8.0	4.5	5.9	9.2	16.7
	13	14.9	20.1	23.5	28.6	28.4	24.2	19.1	12.5	7.5	6.4	6.4	10.7	16.9
	14	15.7	19.2	22.9	28.2	28.1	24.4	18.3	10.2	7.3	4.2	5.9	7.8	16.1
	15	15.5	19.9	23.4	25.1	28.0	25.6	17.9	15.3	8.4	5.3	7.3	9.5	16.8
	16	15.8	20.8	24.6	29.1	28.3	26.1	18.9	14.8	9.8	5.7	5.6	8.6	17.4
	17	15.7	19.1	24.6	27.1	28.3	25.9	19.6	13.1	5.1	4.9	6.2	8.0	16.5
	18	13.1	19.3	23.8	26.6	29.3	24.0	19.7	14.0	8.3	6.9	8.1	9.8	17.1
	19	14.4	19.7	23.6	26.0	29.6	27.4	20.0	13.6	9.2	5.7	4.8	10.6	17.1
	20	15.3	19.8	23.1	28.7	28.6	25.1	19.8	13.3	8.9	6.4	7.9	9.9	17.3
	21	15.6	19.9	24.1	27.2	28.3	24.8	19.4	13.8	8.7	5.9	7.9	9.6	17.1
	22	13.6	18.9	24.1	28.0	30.5	26.8	20.3	13.2	8.8	4.2	7.4	8.0	17.0
	平均	15.0	19.8	23.7	27.5	28.6	25.3	19.2	13.5	8.1	5.6	6.6	9.4	16.9
	標準偏差	0.9	0.5	0.6	1.2	0.5	1.0	0.6	1.3	1.2	0.8	1.1	0.9	0.4
	最大	15.8	20.8	24.6	29.1	29.6	27.4	20	15.3	9.8	6.9	8.1	10.7	17.4
最小	13.1	19.1	22.9	25.1	28	24	17.9	10.2	5.1	4.2	4.8	7.8	16.1	
降水量 (mm)	12	63.5	64.0	159.5	46.0	21.0	239.5	122.5	204.5	16.5	102.0	63.0	57.0	1,159.0
	13	23.5	99.5	122.5	50.5	100.5	137.0	189.0	34.5	26.5	41.5	25.0	90.5	940.5
	14	61.0	114.0	90.0	103.5	42.5	79.0	89.0	51.0	58.0	78.5	66.0	115.0	947.5
	15	130.0	99.0	153.5	185.0	300.5	146.5	74.5	154.5	19.5	13.5	49.5	64.0	1,390.0
	16	122.5	252.0	129.0	24.0	125.0	164.5	301.5	74.5	91.5	13.5	44.5	81.0	1,423.5
	17	28.5	70.0	58.0	177.0	54.0	87.0	94.0	31.0	19.5	27.5	96.5	99.0	842.0
	18	119.0	201.0	162.5	317.5	118.5	80.0	70.0	66.5	95.0	20.0	30.0	70.5	1,350.5
	19	38.0	158.5	133.0	168.0	54.0	38.0	89.5	16.0	88.5	50.0	49.5	95.5	978.5
	20	113.0	203.5	176.5	105.5	129.0	98.0	64.0	56.5	44.0	75.5	108.5	104.0	1,278.0
	21	69.5	61.5	128.0	178.5	84.0	30.5	104.5	131.5	39.0	37.0	133.0	158.0	1,155.0
	22	153.0	163.5	262.0	195.5	41.0	114.0	133.0	17.5	65.5	0.0	86.5	62.0	1,293.5
	平均	76.9	132.3	131.3	135.6	102.9	110.0	119.9	82.1	49.8	45.9	66.6	93.5	1146.5
	標準偏差	38.9	63.9	33.9	83.5	74.8	59.9	69.4	58.2	30.0	28.8	33.5	27.7	199.5
	最大	130.0	252.0	176.5	317.5	300.5	239.5	301.5	204.5	95.0	102.0	133.0	158.0	1423.5
最小	23.5	61.5	58.0	24.0	21.0	30.5	64.0	16.0	16.5	13.5	25.0	57.0	842.0	
日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )	12	16.4	19.2	15.0	19.8	20.3	14.5	10.3	8.2	7.7	7.7	10.1	13.5	13.6
	13	18.0	17.5	17.3	22.0	18.4	14.5	12.0	9.8	8.6	8.5	10.2	14.9	14.3
	14	16.7	16.8	18.9	19.9	19.1	15.3	12.2	9.3	6.8	8.0	10.1	13.3	13.9
	15	13.8	17.8	14.5	14.8	17.7	16.0	12.1	7.5	8.3	9.3	11.9	13.7	13.1
	16	19.3	16.9	19.2	21.5	18.2	14.1	10.9	9.3	8.1	8.7	9.4	12.8	14.1
	17	19.3	20.6	19.8	15.7	17.5	14.7	11.0	10.1	8.7	8.0	9.5	13.0	14.0
	18	14.2	16.6	17.2	14.0	19.9	15.3	12.1	9.0	7.2	9.2	11.9	14.2	13.4
	19	17.1	19.5	18.2	15.0	20.3	15.5	12.0	9.2	7.1	7.8	11.0	14.5	13.9
	20	16.6	18.8	15.4	21.7	18.1	13.9	11.4	8.8	8.1	7.9	10.3	13.6	13.7
	21	18.5	16.8	19.1	16.6	17.3	15.9	12.2	8.5	8.1	8.9	9.9	11.4	13.7
	22	15.5	18.8	17.5	18.5	21.0	15.6	10.9	9.4	7.7	9.9	10.7	15.1	14.2
	平均	17.0	18.1	17.5	18.1	18.7	15.0	11.6	9.0	7.9	8.4	10.4	13.5	13.8
	標準偏差	1.8	1.3	1.8	3.0	1.1	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.8	0.9	0.3
	最大	19.3	20.6	19.8	22.0	20.3	16.0	12.2	10.1	8.7	9.3	11.9	14.9	14.3
最小	13.8	16.6	14.5	14.0	17.3	13.9	10.3	7.5	6.8	7.7	9.4	11.4	13.1	

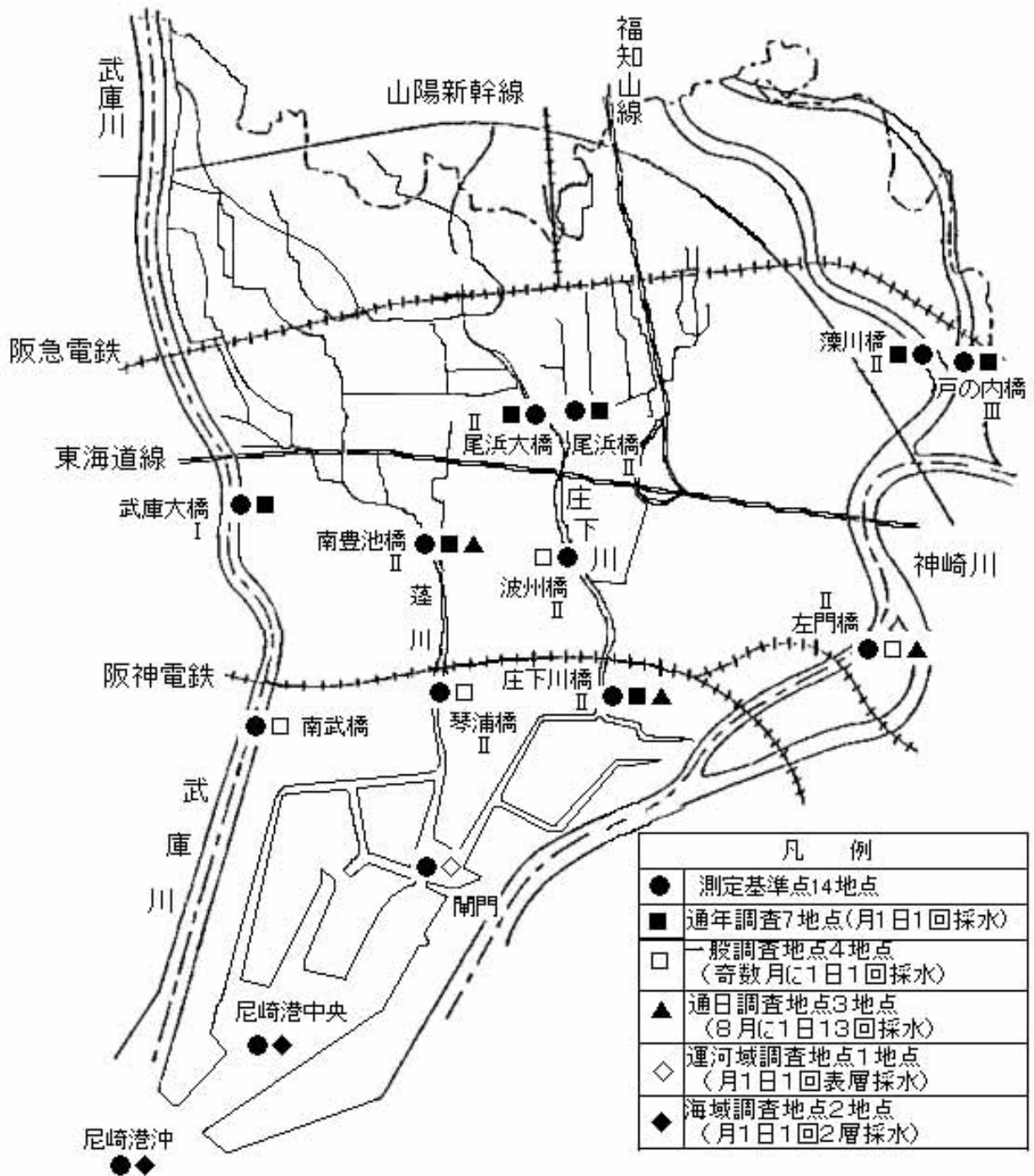
備考 平均、標準偏差、最大、最小は平成12年度から平成21年度のもの

資表-8-(2) 月別気象概況(中部測定所(国設尼崎))

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
平均 風速 (m/sec)	12	3.0	2.7	2.5	3.1	3.1	2.8	2.6	2.5	2.3	3.3	2.5	3.0	2.8
	13	3.0	2.9	2.9	3.1	3.2	2.8	2.6	2.2	2.6	3.5	2.4	3.0	2.9
	14	3.1	3.0	3.1	3.5	3.6	3.1	2.6	2.8	2.7	2.9	2.6	3.0	3.0
	15	3.0	3.1	2.8	2.9	3.2	3.2	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.9	2.9
	16	3.1	3.0	3.0	3.5	3.6	3.3	3.1	2.1	2.3	2.9	3.0	2.9	3.0
	17	3.1	3.1	3.2	2.9	2.9	3.1	2.7	2.2	3.6	2.7	3.1	3.1	3.0
	18	3.0	3.2	2.6	2.7	3.1	3.3	2.7	2.6	2.3	2.5	2.8	2.1	2.7
	19	2.0	2.1	2.2	2.0	2.2	2.1	1.9	1.7	1.8	1.7	1.7	2.0	2.0
	20	2.0	2.2	1.9	2.1	2.1	1.9	1.5	1.5	1.3	1.7	1.8	1.9	1.8
	21	1.8	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1	1.7	1.6	1.7	1.7	1.8	2.0	1.9
	22	2.1	2.0	1.9	1.9	2.1	2.1	1.9	1.5	1.9	1.9	1.5	1.8	1.9
	平均	2.7	2.7	2.6	2.8	2.9	2.8	2.4	2.2	2.3	2.6	2.5	2.6	2.6
	標準 偏差	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
最大	3.1	3.2	3.2	3.5	3.6	3.3	3.1	2.8	3.6	3.5	3.1	3.1	3.0	
最小	1.8	1.9	1.9	2.0	2.0	1.9	1.5	1.5	1.3	1.7	1.7	1.9	1.8	
最多 風向	12	北	西南西	西南西	南西	西南西	北	北	北	北北東	西南西	北	北	北
	13	北	西南西	西南西	西南西	北	北	北	北	北	西南西	北	北	北
	14	北	北	北	西南西	南西	北	北	北	北	北	北	北	北
	15	北	東北東	東北東	北	西南西	北	北	北	北	北北西	西南西	北	北
	16	南西	南西	西南西	南西	東北東	北	北	北	北	西南西	北北西	北北東	北
	17	西南西	北	西南西	西南西	西南西	北	北	北	西南西	北	北	北	北
	18	北	東北東	西南西	西南西	東北東	北	北	北	北	北	北	北	北
	19	北	西南西	西南西	西南西	西南西	北東	北北東	北北東	西	北	北北西	北	西南西
	20	北	西南西	西南西	西南西	西南西	北	北	北	北北東	北北東	北	北	北
	21	西南西	北	西南西	西南西	西南西	北	北北東	北	西	西	北	北	北
	22	北	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	北	北	西	西	北	北	西南西

備考 平均、標準偏差、最大、最小は平成12年度から平成21年度のもの

資図-4 公共用水域水質調査地点



備考 各河川のⅠ、Ⅱ、Ⅲは、生活環境の保全に係わる環境上の基準の水域区分の各Ⅰ級、Ⅱ級、Ⅲ級水域。

資表-9 水質汚濁状況(年平均値)の推移

(単位:水素イオン濃度を除き mg/L)

水系	調査地点	水素イオン濃度 (pH)					生物化学的酸素要求量 (BOD)					浮遊物質量 (SS)					溶存酸素量 (DO)				
		年度					年度					年度					年度				
		18	19	20	21	22	18	19	20	21	22	18	19	20	21	22	18	19	20	21	22
神崎川	左門橋	7.0	7.2	7.5	7.3	7.1	2.2	1.8	2.2	2.4	2.1	9	6	6	4	5	6.9	7.4	7.6	7.1	6.7
	戸の内橋	7.1	7.2	7.1	7.1	7.1	5.1	3.3	3.1	3.8	3.8	8	4	3	4	4	6.1	7.2	7.2	6.3	6.9
	藻川橋	7.2	7.3	7.3	7.2	7.2	2.4	1.9	1.8	2.1	1.7	6	4	5	4	3	6.6	8.0	8.0	6.9	7.6
武庫川	南武橋	7.7	7.7	8.2	7.8	7.9	1.8	1.6	2.3	2.2	1.5	14	16	7	4	4	7.6	8.7	8.5	7.5	9.0
	武庫大橋	8.2	8.1	8.1	8.0	7.9	1.6	1.3	1.3	1.4	1.2	4	4	4	3	3	11	12	10	9.8	9.5
庄下川	庄下川橋	7.6	7.8	7.8	7.7	7.7	2.3	2.6	2.4	2.7	2.1	7	8	8	9	7	8.4	9.9	9.3	9.1	9.1
	波洲橋	8.0	7.7	8.1	7.8	7.9	2.1	2.0	2.2	2.6	2.1	7	7	14	11	6	10	9.2	11	9.5	9.9
	尾浜大橋	7.7	7.7	7.5	7.6	7.5	2.1	1.8	1.5	1.8	1.8	6	4	6	4	4	8.8	9.4	8.5	8.4	8.0
	尾浜橋	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	2.5	2.1	2.1	2.5	2.2	6	5	9	9	7	10	11	10	9.7	9.5
蓬川	琴浦橋	7.5	7.5	7.6	7.7	7.6	1.5	2.2	2.0	2.1	1.9	7	8	9	3	2	7.5	8.3	7.7	8.0	7.7
	南豊池橋	7.6	7.5	7.6	7.5	7.5	1.3	1.0	1.0	1.2	1.0	4	4	6	4	3	9.4	8.8	8.9	7.4	7.9
運河	閘門	8.1	8.2	8.3	8.1	7.9	6.2	6.7	5.8	5.8	8.1	-	-	-	-	-	11	11	11	11	9.8
海域	尼崎港中央	8.0	8.1	8.1	8.2	8.3	3.5	5.5	3.8	4.9	5.0	-	-	-	-	-	7.7	9.5	8.1	8.9	9.6
	尼崎港沖	8.0	8.0	7.9	8.2	8.2	3.6	5.4	3.5	5.0	4.4	-	-	-	-	-	7.8	9.3	8.1	8.7	9.0

備考 1 運河と海域は化学的酸素要求量(COD)

資表-10 地下水調査結果(22年度)

項目	調査検体数	環境基準を 超える検体 数
カドミウム	4	0
全シアン	4	0
鉛	4	0
六価クロム	4	0
ヒ素	5	0
総水銀	4	0
アルキル水銀	4	0
PCB	4	0
ジクロロメタン	4	0
四塩化炭素	7	0
1,2-ジクロロエタン	4	0
1,1-ジクロロエチレン	7	0
シス-1,2-ジクロロエチレン	7	0
1,1,1-トリクロロエタン	7	0
1,1,2-トリクロロエタン	4	0
トリクロロエチレン	7	0
テトラクロロエチレン	7	1
1,3-ジクロロプロペン	4	0
チウラム	4	0
シマジン	4	0
チオベンカルブ	4	0
ベンゼン	4	0
セレン	4	0

備考  は環境基準に適合しないもの

資図-5 地下水調査メッシュ図

